



〔 挑戦を楽しむ学生たち 〕

学部・学科やジャンルにとらわれず、
学生の挑戦・成長を称えるNGU AWARD。

名古屋学院大学に入学して
がんばっていること、挑戦していること、
熱い想いをプレゼンテーションしました。

NGU 名古屋学院大学

挑戦を楽しむ学生を称える 「NGU AWARD」とは？

学生自らが成し遂げたい目標を仲間たちに宣言し、目標達成への取り組み、挑戦の成果や成長を称えあうのがNGU AWARDです。第1回は9名が参加し、第2回を迎えた今回は8名の学生が参加しました。自ら踏み出した一歩が、意識を変え、行動を変え、大きな成果とつながっていく。これまでの挑戦者たちの宣言をご紹介します。

#17

第2回参加者

松浦 千夏さん

やりたいことは全部やる！
名物イベントを
作り上げ継続させたい



#16

第2回参加者

佃 菜々海さん

大学祭を盛り上げたい
仲間と共に幅広い世代が
楽しめる企画の実現へ



#15

第2回参加者

鈴木 健心さん

苦手な英語が得意に！
海外での仕事をめざし
留学に挑戦



#14

第2回学生賞

寺田 幸奈さん

資格取得を自信に変え
就活へ役立てる
FP2級をめざして勉強中



#13

第2回学長賞

西山 慶乃さん

興味があるから飛び込む！
国際ボランティアや留学で
価値観を磨き成長したい



#12

第2回参加者

澤木 陽奈多さん

まちづくりに貢献したい
商店街の活性化や
地域イベントを企画



#11

第2回参加者

林 つぐみさん

新しいことに挑戦！
資格を取得して
憧れのIT人材へ



#10

第2回参加者

林 真帆さん

誰かのために動きたい
ヤングケアラー支援活動の
輪を広げる



#09

第1回参加者

山内 寛斗さん

学生時代に強みをつくる！
行政書士の
資格取得をめざす



#08

第1回参加者

葛谷 みらんさん

「人と関わりたい」を
モチベーションに学内と
学外の活動をつなげる



#07

第1回参加者

佐藤 佳奈さん

苦手だった英語が
今は楽しい
留学をめざして勉強中



#06

第1回参加者

嵯峨 暢基さん

地域の人たちを守りたい！
夢に向かって
地域活動を盛り上げる



#05

第1回参加者

柳澤 脩人さん

1点のリベンジ！
複数の資格取得にむけて
計画的に勉強中



#04

第1回学長賞

荒芝 優希さん

憧れの先輩のように
他学部の学生と交流できる
イベントを企画したい



#03

第1回参加者

塚本 伊吹さん

失った時間を取り戻す！
学生生活を楽しむために
サークルを立ち上げ



#02

第1回学生賞

柴田 真空さん

経験を積んで
長所を見つけた
苦手なプレゼンが好きに



#01

第1回参加者

外山 美友里さん

帰国した留学生に
アメリカで会いたい！
留学めざして勉強中



NGU AWARD
サイトはコチラ



NGU AWARD 2nd 8名の学生が挑戦！

プレゼン当日までの道のり



ヤングケアラー支援活動の中で 「好き」や「得意」に気づき、 将来の目標が決まった

現代社会学部 林 真帆さん



取り組んだこと

「誰かの役に立ちたい」と思い、**ヤングケアラー啓発活動チーム“BE HAPPY”**に力を入れています。行政・支援団体との意見交換や、イベントでの啓発グッズの制作と配布など、幅広く活動をしています。

工夫したこと

ヤングケアラーへの理解を深めてもらうゲームの進行役を担当していますが、**技術を向上させたいとファシリテーションの講義を受講**。チラシの構成やデザインなども、認知につながるよう工夫しています。

得られたこと

積極性の大切さ、そして活動の意義を実感。イベントの参加者が理解を深めていく姿に、やりがいを感じます。また活動の中で**自分の好きなこと・得意なこと**がわかり、将来の目標が決まりました。

10



■ プレゼンを終えて ■

発表の練習を何度も行い、周囲の人からの応援を活力にがんばりました。これからも積極性を大切にしたいと思います。



11

■ プレゼンを終えて ■

このプレゼンテーションを聞いて、新たな挑戦をすることは大事だと感じてもらえる人が増えたらいいと思います。



IT資格の取得にチャレンジ！ 時間管理能力や集中力など 武器になる力も手に入れた

経営学部 林 つぐみさん



取り組んだこと

「経営学部の一期生として、後輩達の指針になりたい」「自分に自信を持ち、将来の選択肢を増やしたい」という思いから、企業に求められる人材をめざして**ITパスポートの取得に挑戦**しました。

工夫したこと

モチベーションに左右されないよう、勉強を習慣化しました。また外出先でも勉強ができる、**動画や単語アプリなどツールを活用**。講座内で友人をつくり、切磋琢磨しながら勉強を続けました。

得られたこと

資格に合格できたことで、自信だけではなく、限られた時間を有効に使うための**スケジュール管理能力や適応力**も身につきました。また**自分の強みや弱みと向き合う姿勢**を持てるようになりました。



12

■ プレゼンを終えて ■

「あきらめなければ必ず道は開ける」ことを実感しました。思ったよりも緊張せず、落ちついて話せてよかったです。



二度の挫折を乗り越え、 商店街の活性化に向けた 地域イベントを開催！



現代社会学部 澤木 陽奈多さん

取り組んだこと

名古屋市主催の空き店舗再生プロジェクト「**ナゴヤ商店街オープン**」への参加がきっかけで、**他大学の学生とイベントを企画**。南区にある内田橋商店街の活性化に向け、内田橋良市を開催しました。

実行までの道のり

開催までに**二度の挫折を経験**。関係者全員の同意を得られず2カ月遅れになったうえ、当日は台風直撃で中止に。しかし「**絶対あきらめない**」という思いが届き、形を変えたイベントを実施できました。

得られたこと

挫折をバネにする力。**ピンチをチャンスと捉え、次のステップにつなげることが大切**だと実感しました。また小さなことでもいいから、みんなが楽しめることをやれば、自然と街が活気づくと思いました。



国際ボランティアと長期留学で磨いた 対話力や多様な価値観を、 日本語教員になる夢につなげたい



国際文化学部 西山 慶乃さん

取り組んだこと

発展途上国の支援に携わりたという思いから、1年生の時に**国際ボランティア・プログラムに参加**。さらに語学力と多様な価値観を身につけるため、**アメリカへの長期留学とインターンシップに挑戦**しました。

得られたこと

留学先で、**多様性を尊重し、個性を引き出す海外の教育を体験**。国の文化や価値観を知り、思考の違いや国民性に触れることで、常識が覆りました。考え方が変わり、**物事を多面的に捉えられるように**。

今後の目標

多様な価値観を持つ人々と、円滑にコミュニケーションを図れるスキルをさらに向上させたい。そして昨年から国家資格になった**日本語教員の資格を取得**し、将来の夢につなげたいと思います。

13



■ プレゼンを終えて ■

発表に向けて、自分がやってきたことを振り返る時間が持てました。自分の思いを伝えることができてよかったです。



14

■ プレゼンを終えて ■

皆さんの発表内容が素晴らしく、プレッシャーを感じました。NGU AWARDも自分にとっての挑戦だったと思います。



自分に自信をつけるため FP2級の資格を取得！ 将来の道も見えてきた



現代社会学部 寺田 幸奈さん

取り組んだこと

大学受験が思うようにいかず、自信が持てずに不安だったことから、学内の資格講座説明会に参加。就活に役立てたいと、**ファイナンシャル・プランニング技能検定2級の資格取得に挑戦**しました。

工夫したこと

単語などの暗記問題は電車の中で勉強し、**片道2時間半の通学時間を有効活用**しました。また年3回試験が実施されるため、**試験直前は大学の長期休みを利用して、じっくり勉強**に取り組みました。

得られたこと

努力が成果に結びつき、**自信が持てるようになり**ました。また、**時間を有効活用**できるようになったことも大きなプラスです。さらに不動産や住宅業界への興味が湧くなど、**将来の方向性**も見えてきました。



15

■ プレゼンを終えて ■

伝えなかったことを、しっかり話すことができました。留学を通じて学んだことを周囲にもシェアしていきたいです。



英語ラウンジでの活動が 語学力アップと自信に。 アメリカでの長期留学を実現



外国語学部 鈴木 健心さん

取り組んだこと

高校時代の短期留学がきっかけで長期留学を志すように。留学サポートが整っているNGUに入学し、**アメリカへの長期留学に挑戦**しました。**選考に必要なTOEFL®のスコアアップ**に向け、勉強に力を入れました。

工夫したこと

1年次に学内の**スピーチコンテスト**で優勝し、**i-LoungeのEL Jr.インターン生***として活動しました。2年次にはリーダーとして大規模なイベントを主催。これらの**経験と自信が、留学内定につながりました。**

得られたことと今後

「自分はどんな存在なのか」を改めて認識。**自主性や自立心など、今後にも必要な力**が身についたと感じています。この学びを生かし、将来は**サッカーのエージェントとして世界で活躍**したいと思います。

*EL Jr.インターン生:EL(英語ラウンジ)で実施されるプログラムを、ネイティブ講師や留学生と企画・運営をする学生スタッフ。



大学祭を成功させる！ 委員長としての一年間は 挑戦と成長の場だった

商学部 佃 菜々海さん

取り組んだこと

高校生の時にコロナ禍で学校行事が制限された経験から「**大学では今しか経験できないことに挑戦したい**」と、大学祭実行委員に。第60回という記念の年に、**前例のない2年生での実行委員長**を務めました。

工夫したこと

「みんなが楽しめる大学祭」という目標を掲げ、意見を取り入れながら**全員で動けるチームづくり**を意識。地域交流につながる展示や他大学への模擬店出店など、やりたい気持ちを形にしました。

得られたことと今後

報告・連絡・相談の大切さを知り、**仲間と協力して物事を進める力**ができました。トラブルを乗り越えられたのは、信頼関係が築けていたからこそ。来年の大学祭に向け、後輩をサポートしていきます。



16

■ プレゼンを終えて ■

少し緊張しましたが、がんばって伝えることができました。今度は後輩を支え、昨年より盛り上がる大学祭にしたいです。



興味があることは全部挑戦！ 多彩な交流イベントで培った スキルで憧れの客室乗務員に

外国語学部 松浦 千夏さん

取り組んだこと

国際交流イベントを運営するi-Lounge Palette*のリーダーとして、**留学生との交流イベントを実施**。また「まちづくり提言コンペ」での受賞をきっかけに、**社会連携センターと地域交流イベントを開催**しました。

工夫したこと

国際交流イベントは単発が多かったため、**名物イベントとして継続していけるコンテンツ**を企画。地域交流イベントでは、子どもから高齢者まで**世代を超えた交流を通じ、地域を活性化させる機会**を作ることができました。

得られたこと

さまざまな挑戦をする姿勢が評価されたことで、**より積極的に行動**できるように。**企画力やリーダーとしての統率力**など、これまでの活動を通して得たスキルが、夢だった客室乗務員の企業内定につながりました。

*i-Lounge Palette(アイラウンジ・パレット):i-Loungeで異文化に関わるイベントの企画・運営をする学生スタッフ。



17

■ 取り組みを終えて ■

自分の行動を振り返り、今後大学を卒業し、社会人となる上で自分の特性を見つめ直すいい機会になりました。





国際文化学部 西山 慶乃さん



学長賞という輝かしい賞をいただけたことを光栄に思います。本番のプレゼンテーションに向けて、挑戦してきたことを改めて振り返る時間が持てたのも、自分にとってプラスになりました。人前で発表する度胸もついたと感じています。将来の夢を叶えるために、今後もチャレンジを続けていきます。



現代社会学部 寺田 幸奈さん



素晴らしい発表が並ぶ中、学生賞に選んでいただけたことに大変驚いています。今日は皆さんの挑戦内容を聞き、多くの刺激をもらえました。NGU AWARDに参加したことで、人前で話す経験を積めたことも大きな収穫です。これからも、さまざまなことを積極的に挑戦していきたいと思っています。



President's Comment

第2回目となる今回、挑戦者の皆さんが、1年前の宣言から多くの経験を積み、大きく成長した姿には目を見張るものがありました。特に嬉しく感じたのは、皆さんが本学の学びの仕掛けを活用しながら、それぞれの道を歩み、成長してくれたことです。そして全員が、「挫折」や「失敗」を経験しながらも、最後まであきらめずに「挑戦」し続けたその前向きな姿勢に心を打たれました。残りの学生生活も、更なる高みをめざしてがんばってほしいと願っています。

学長 赤楚 治之

